

野洲市議会・最終日の本会議(28日)

市民・議会・医師会の意見も思いも無視した 市民病院関連4議案否決

市長は議決を真摯に
受け止めて、市民的・民主的に
建設論の徹底し、市民の早期
的建設の願いに



6月定例市議会は28日閉会しました。28日の最終日の本会議で市長が提案していた、新病院建設地を駅前から温水プール跡地に変更するための基本計画変更委託、病院の位置(住所)の変更、市立病院に顧問と病院管理者を設置など、補正予算及び条例改正の4議案が反対多数で否決されました。

市長が1月突然に、「熟考する」として駅前建設を凍結しました。熟考後の新たな提案が、建設地は温水プール跡地、顧問・病院管理者を設置すると言うものでした。しかし、温水プール跡地での建設検討では、敷地の軟弱地盤問題や通院者の利便性や交通アクセスなどの検討が極めて曖昧で根拠に欠けること。また顧問や年間約2500万円もの給与・手当が必要となり、また、福山病院長すら否定する病院管理者設置の根拠も示せない提案でした。

このような市長の提案に市民や議会、守山野洲医師会からも強い疑問と批判が寄せられていました。市長に早期建設の意志があるのか疑念を思わせる議会提案に議会は反対多数で否決しました。今、市長に必要なことは、議会の意思を真摯に受け止め、市民的・民主的な議論に徹し、市民の市民病院の早期建設の願いに立つべきです。このことが今こそ市政に問われています。

根拠と方針も曖昧な
推進に理解得られず

第三者委員会が 審査結果を公表

栢木市長のパワハラを認定

職員が、「市長からパワハラを受けた」として調査を求めている問題で、市が設置した第三者委員会が『パワハラを認定する』調査結果を30日公表しました。

この問題は、市幹部職員が、栢木進市長から議会答弁に関し議場で「大声で暴言を吐かれた」、来客の前で「偉そうに言うな。お前はウンコ」、などのパワハラ被害を受けたとして市に調査を求めているものです。市が設置した第三者

委員会がこれまで審査し、その結果を公表したものです。

調査結果では、パワハラ5件の申し立ての内、市長の言動について「業務上必要かつ相当な範囲を超える」として、3件についてパワハラ行為であると認定しました。

市長がパワハラで市行政を担当・推進することはあり得ないことで、民主的な市民本位の行政に著しく反します。市長としての政治的責任と資質・資格が厳しく問われています。

やす民報
日本共産党野洲市委員会
2022年7月1日 No.440

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

- 小菅康子 比江668-3 (電話・FAX) 589-4971
- 工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856
- 野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
- 東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党が見解を公表しましたのでお知らせします。

ホームページをご覧ください
共産党野洲市議団 検索